

イブキスミレ	<i>Viola mirabilis</i> L. var. <i>subglabra</i> Ledeb.	絶滅危惧Ⅰ類
		スミレ科
選定理由	生育地に限られるのと個体数が少ない。	<p>写真(山崎玲子)</p>  
形態の特徴	高さは8-15cm。葉は円心形。花は淡紫色で唇弁に紫条が入る。側弁の基部に毛がある。距は白色で太い。花の後葉が対生になり、その間に閉鎖花が付く。それがイブキスミレの特徴で分かり易い。花期は5月。	
生態的特徴	山地の主に石灰岩地帯の樹林下にある。	
分布状況	北海道、本州に分布する。岐阜県では美濃地方西部に分布する。	
減少要因	石灰岩地帯の草地が少なくなっている。	
保全対策	山地の樹林内の手入れをする。	
特記事項	石灰岩地帯の保全が望まれる。	
参考文献	日本のスミレ:いがりまさし著	

文責:山崎玲子